

8 EIGHT DESIGN

家づくりの仕上げブック＋ リノベーション用語集

※掲載されている内容の殆どは普遍的な内容となっておりますが、一部古い情報が掲載されていることがあります。

写真なども過去事例のものが掲載されていますので、最新版をご覧になりたい方は、ぜひエイトデザインでの家づくりをご検討ください。

<https://eightdesign.jp>



壁の色や仕上げの雰囲気で、内装のイメージはガラッと変わります。全部真っ白にする以外にも、ワンポイントで好きな色を入れてみたり、タイルを貼ってみたり。ちょっとしたデコレーションするのも楽しいです。

コンクリートむき出し or ボード仕上げ

コンクリート建物の場合、躯体コンクリートはそのままむき出しで仕上げるか、石膏ボードなどで覆って仕上げるか、どちらかを選択することになります。外気に接する躯体壁は断熱材を入れてボードで覆って仕上げる人が多いです。新規で造作した間仕切り壁は基本的にボード仕上げになります。

コンクリートむき出し ★★

- 【メリット】 凸凹のある、味のある雰囲気を楽しめる、メンテナンスの必要があまりない。
- 【デメリット】 ビスをうつには専用の工具が必要、外気に接する壁は断熱の必要があるため、むき出しにしない方がよい。



壁紙やボードを剥がした後の、躯体コンクリートをそのまま表した仕上げ。凹凸のあるテクスチャーが味のある雰囲気。塗りつぶせば素朴な感じに、クリア塗装で素地色を活かせばクールな印象の空間になります。

素地色仕上げの場合、もともとの躯体がどんな仕上げだったのかで様々な表情になります。クロスが直接貼ってあったのか、またはボードがボンドなどで貼ってあったのか…。



POINT

クリア塗装仕上げができるかどうかは、コンクリート躯体の状態に左右されます。躯体の状態はリノベーション工事が始まって内装解体後に初めて分かるため、当初の予定を変更して塗りつぶすしかないケースもあります。右の写真はクリア仕上げをあきらめた躯体壁の例です。凹凸補修のパテがどうしても取れなくて…(涙)



石膏ボード + 塗装仕上げ ★★★

- 【メリット】 簡単に着色できる。コーナーが鋭く、シャープな印象。
- 【デメリット】 簡単にビスを打てるが、強度がないため重量物の取り付けには下地が必要。下地の職種により、割れなどが生じることがある。

旧版



塗装やクロスの下地として石膏ボードや合板を貼った壁。凹凸がなく、スッキリした仕上がりになります。コンクリートのポコポコが苦手だったり、電気配線等を隠したい人にオススメです。



普段はあまり存在を気にしない天井。でも空間のイメージを左右する重要な部位です。ボードを組むのか、コンクリートむき出しにするのか、またカラフルに塗ったりしてもOK。天井は白、という先入観はひとまず置いておいて、いろんな仕上げを考えましょう。

構造体むき出し or ボードで覆う

壁の仕上げと同じく、リノベーションでは建物の躯体や梁をそのままむき出しで仕上げるか、石膏ボードなどで覆って仕上げるか、どちらかを選択することになります。なお、最上階の場合は断熱材が必須なので、ボードで覆って仕上げる人が多いです。

コンクリートむき出し ★★

コンクリート建物の場合、壁紙やボードを剥がして躯体コンクリートをそのまま表した仕上げ。凹凸のあるテクスチャーが味のある雰囲気。塗りつぶせばナチュラルな感じに、クリア塗装で素地色を活かせばクールな印象の空間になります。



鉄骨むき出し ★★★

鉄骨造の建物の場合、鉄板や梁をむき出しにして上げると、工場のような無骨な空間になります。軽量鉄骨と重量鉄骨では出てくる構造体が違ってきます。



木梁むき出し ★★★

木造の建物の場合、木の梁などを活かして上げると、味があって印象的な空間になります。木部を塗装するかしないかでも、またグッとイメージが変わります。



ボードで覆う ★★★

建物の躯体を石膏ボードや合板で覆う仕上げ。電気配線等を隠してスッキリした仕上がりになります。またダウンライトを使用する場合もボード仕上げになります。



旧版



内装の仕上げで最もバリエーション豊富なパーツのひとつ。床材の風合いで、空間のテイストが大きく左右されます。重厚にしたいのか、明るくしたいのか。ナチュラルにしたいのか無骨にしたいのか・・・。木以外にも材料いろいろ。選択肢がいっぱいすぎるので、じっくり楽しく悩もう。

フローリング

一口にフローリングといっても、構造や材質によっていろいろなタイプが存在します。本物の木もあるし、木の模様をプリントした樹脂製品もあります。最近は加工技術があがっているため、ぱっと見では違いが分からないことも。自分が好きな風合いとメンテナンス性、コストのバランスを考えて材料をセレクトしましょう。

塩ビタイル ★☆☆

【メリット】安価。掃除がしやすく、水、傷に強くメンテナンスがしやすい。
【デメリット】既製品なので、色・柄のカスタマイズは難しい。べたべたとした質感。

ビニールの板に木目柄をプリントした床材。正確にはフローリングではありませんが、フローリングの代用として使われる材料です。表面に木目のような凹凸がついてあり、一見すると本物の木に見えます。ただし、木のように見えても、手触りはビニールのべたつとした感じになってしまいます。



複合フローリング ★★(グレードによる)

【メリット】安価。湿度変化に強く、そり・割れなどが生じにくい。
【デメリット】質感が人工的になりやすい。



一枚の木ではなく、合板などに化粧用の薄い板を組み合わせてつくったフローリング。表面の木材の厚さによって大きく印象や質感が異なり、薄くて安価な製品は必ず表面保護のコーティングがされ、木の質感は失われます。表面材が厚いものは無垢の質感に近くなりますが、価格も高価になります。(ものによっては無垢以上?)

無垢フローリング ★★(樹種による)

【メリット】木の一枚板ならではの重厚感。傷がついても削ったりしてメンテができる。
【デメリット】温度、湿度などにより、そり、割れが生じることがある。床鳴りが起こることがある。

一枚の木をそのまま切り出してつくるフローリング。接着剤などを使っていない木本来の質感が魅力です。時とともに風合いが増したりと、長くつきあえるオススメの材料です。樹種によって金額は大きく変わります。(次ページ参照)



旧版



キッチンは便利な機能がたくさん搭載されたものから、必要最低限の機能のものまで、タイプはいろいろ。デザインもゴージャスなものからシンプルなものまで。毎日の料理の効率に関わってくる重要な部分なので、見た目だけでなく自分に必要な機能が何かを見極めて、お気に入りのキッチンを手に入れましょう。

オリジナルキッチン

市販の便利なシステムキッチンも良いですが、使わない機能にまでお金を払うのはもったいないです。オーダーメイドなら、ホントウに欲しい機能だけを盛り込んで、自分ぴったりのサイズで、デザインも隅々までこだわったオリジナルキッチンをつくれます。

【メリット】 見た目、機能すべてを自分好みの仕様にする。

【デメリット】 高価。

鉄脚+ステンレス天板 ★★

エイトデザインの標準仕様。オープンな鉄脚の収納にステンレス製の天板を載せたキッチン。天板やシンクのサイズ、洗剤ポケットの有り無し、などなど、自分好みでつくれます。水栓（蛇口）も好きなデザインをセレクトしましょう。セレクトするコンロや水栓、食洗機のグレードなどで金額が変わってきます。



もっともシンプルな基本パターン。洗剤ポケットのない標準仕様のシンク。腰壁はつくらず、完全にオープンなデザインです。



ルーバーで目隠し。シンクには洗剤を入れるポケットをつくりました。

旧版



ダブルシンク



ダブルポケット



長い蛇口にもできます



5. 洗面

小さなスペースですが、洗面ボウルや水栓のデザインをこだわれば、毎日の身支度が楽しい空間ができ上がります。逆に、シンプルに最低限の機能で割り切ってしまうのもひとつの手です。狭い空間だからこそ、思い切った壁色にしたりするのもオススメ。

木カウンター+洗面ボウル ★★

エイトデザインの標準仕様。木でつくったオープンな収納カウンターに洗面ボウルを載せるor埋め込むデザイン。オープン収納は、タオルを入れたり、小物を入れたカゴを格納したり、暮らす人の持ち物や使い方に合わせて設計します。



エイトデザインでは、シンプルな埋め込み洗面ボウルにミラー収納の組み合わせることが多いです。



板鏡を貼付けるだけのシンプルな仕様。小物はオープンに収納します。



洗面ボウルだけ ★

とてもシンプルかつ潔い仕様。壁付けタイプの洗面ボウルを設置して、収納カウンターは造作しません。歯ブラシやハンドソープを置けるスペースつきのボウルをセレクトすると使い勝手が良いです。市販のキャスター収納等と組み合わせると便利です。



旧版

造作化粧台 ★★★★★



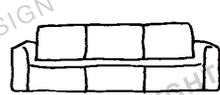
扉付きの収納カウンターをオリジナルデザインで造作するタイプ。ごちゃごちゃが全部隠れるので、スッキリした空間になります。大工工事に加えて、家具職人さんに扉をつくってもらう費用が発生するため、価格が高くなります。

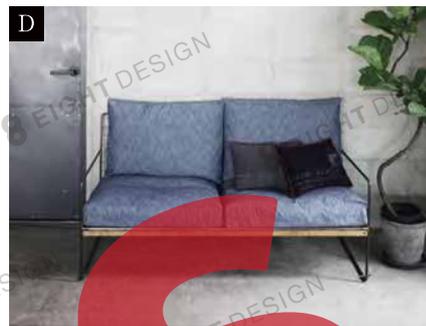


ハチカグ・オリジナル家具／実例集



- A. テーブル (バーンウッド、アイアン) ¥101,850 ~ / チェア (バーンウッド、アイアン) ¥49,350 ~
 B. シェルフ (バーンウッド、アイアン) ¥124,950 ~
 C. PC デスク (ホワイトアッシュ、アイアン) ¥78,300 ~ / ワゴン (ホワイトアッシュ、アイアン) ¥59,310 ~
 D. ハイチェア (ホワイトアッシュ、アイアン) ¥46,200 ~
 E. テーブル (ホワイトアッシュ、アイアン) ¥73,500 ~
 F. オーダー 3P ソファ (牛革、ホワイトアッシュ、アイアン) ¥400,000 ~
 (* w2450 のソファの例です。w1600 の3P ソファの場合 ¥270,900 ~)
 オットマン ¥130,000 ~





- A. カーテン (帆布) ¥26,000 ~
 B. デスク (ホワイトアッシュ、アイアン) ¥150,000 ~
 C. ベッド (ホワイトアッシュ、アイアン) ¥120,000 ~
 D. デニムソファ 2P (ホワイトアッシュ、アイアン) ¥182,700 ~
 E. テレビボード (ホワイトアッシュ、アイアン) ¥90,300 ~

インテリアコーディネート／実例集



MEMO

SAMPLE

これを知っておけば打ち合わせもバッチリ!
リノベーション用語

リノベーションの打ち合わせや建築現場で使われる専門用語をまとめて解説!
これを知っておけば、職人さんの話している内容が通訳なしでもよく分かる?

旧版

解体・仮設工事

■ スケルトン

既存の間仕切り壁や床・天井・設備機器など全てを解体し躯体のみの何も無い空間にすること。

■ 既存残し

元々の壁や天井、設備を壊さず、そのまま利用すること。

■ ハツリ

コンクリートを削る、切る、掘る、穴をあけることなどの総称。

■ めくり

壁紙やカーペットなどを剥がすこと。

■ 天井上げ

既存の天井組を解体し、躯体高さまで天井高を上げること。

■ 天井組

天井スラブ（躯体）の下側に空間をあけてボード等を貼って天井をつくる仕上げ。天井組の中に電気配線や排気ダクトなどを隠してスッキリとした見た目ができる。デメリットは天井高が低くなってしまうこと。

■ スラブ

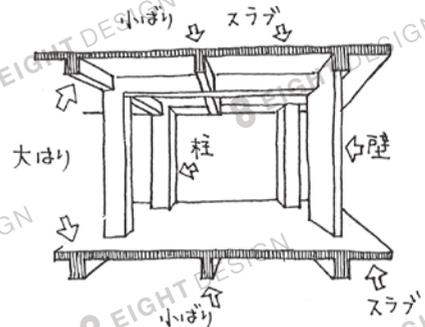
マンションの床を支える板状のコンクリートのこと。スラブが厚いほど遮音性能と断熱性能が高くなる。

■ 梁

建物の水平短径方向に架けられ、床や屋根などの荷重を柱に伝える材。梁の端部に柱があるものを大梁、柱に直接繋がっていないものを小梁とよぶ。

■ 柱

材を垂直に立てて建築物の支えとしたもの。



■ 躯体

建物の主要な構造体、また、骨組みのこと。構造強度にかかわる部分。

■ ジャンカ

コンクリートの打設不良の事例の一つ。締め固め不足やセメントと砂利の分離、また型枠下端からのセメントペーストの漏れにより隙間ができ強度が下がり、脆くなっている状態。

■ 養生

工事中に既に仕上がった部分などを傷つけたり汚したりしないようにシートをかぶせたりなどして保護すること。

■ 養生テープ

養生（保護）する時に使用するテープ。ポリエチレン繊維で織られたものや布製のもので、手で簡単に切れ、しかも粘着力がマスキングテープよりも強く、はがすときはきれいに剥がせる。

設備工事

■ 樹脂管（架橋ポリ管）

樹脂製の給水管。施工性が良く耐久性が高い。ピンク＝給湯、青＝給水。

■ 壁排水

排水管が壁に向かっていているタイプ。

■ 床排水

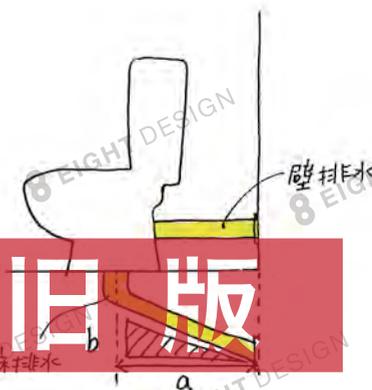
排水管が床に向かっていているタイプ。

■ 排水芯

便器の背面壁から便器の排水口の中心までの寸法。便器により排水芯は異なる。

■ 排水勾配

水は平面では排水できないため、傾けて配管する。その排水管の角度（勾配）のこと。



■ プラグ止め

屋内に給水管が配管された状態で末端にカラン（蛇口）など最終器具が付いてない場合、水を流すとそこから漏水する為、まだ付いていない末端器具の代わりにそこにキャップ（プラグ）をすること。

■ 先行配管

解体が終わり、大工工事に入る前に給水管や排水管、ガス管などを床下などに設置する作業。

■ 転がす

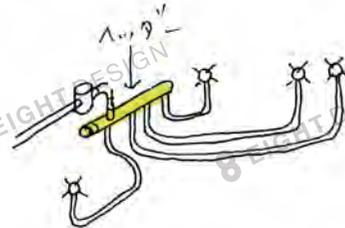
配管・配線などを床や天井、壁内などに設置すること。

■ 排気

内部の空気を外へ除き去ること。ドレン排水を流しだす口（排水口）のこと。

■ ヘッダー工法

給水及び給湯用のヘッダー（LANで使うハブのようなもの）を設置し、そこからパイプを分配して各水栓器具へ配管するものをいう。一番の利点は、将来配管の交換が簡単に出来ることと、万が一漏水した場合も、漏水箇所がヘッダー部分で特定できること。



■ フレキ（フレキシブル管）

ステンレス鋼を薄肉・波型に成形し簡単に曲げられる管。

■ ガス管

燃料用のガスを導き通す管。

■ ジャバラ

排気や排水などに使用する蛇腹状のホース、または管のこと。自由に曲げや伸縮が効く。

ダクト

気体を運ぶ管のこと。おもに建築物内で空調、換気、排煙の目的で設備される。

スパイラル

亜鉛めっき板を螺旋状に巻いて円形に成形したものの。継ぎ目ははんだ付けされる。直管のほか各種の継ぎ手類がある。丸ダクトともいう。

エルボ

ダクトや配管の曲がり。また、給排水、給湯、蒸気などのL型配管継ぎ手をいうこともある。

コア抜き

刃先にダイヤモンドチップのついたビット（ダイヤモンドカッター）で、コンクリート（躯体など）に穴をあけること。

スリーブ

配管等のために構造部や躯体を貫通する比較的小さな孔を指す。エアコンスリーブなど。

PS（パイプシャフト）

建物の各階を通じ、上下水道・電気・ガスなどの設備用の縦管を収納するスペース。

MB（メーターボックス）

電気やガス、水道などのメーターを集めて検針しやすくしたもの。玄関脇などに設けられる。

点検口

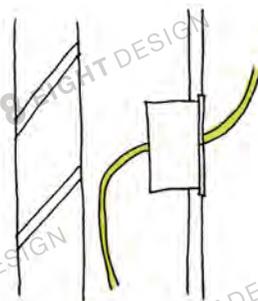
機械、設備配管の操作や点検、修理などに必要な開口。

ガスコンセント

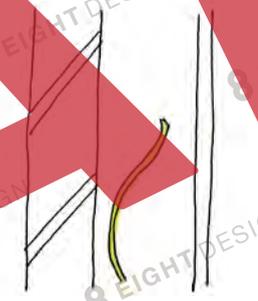
壁や床などに取り付けられているガスの開閉栓。

**電気工事****生かし**

仮設として設けた部材や工事の途中で不要となったものを、別の用途として本工事に効果的に活用すること。

**ころす**

工事の工程上不要になったものを、撤去せずにそのまましておくこと。不要電気ケーブルを壁に殺しておくなど。

**仮設電源**

工事にあたり、現場で臨時に設置された電力供給装置。

先行配線

解体が終わり、大工工事に入る前に配線を先に床下などにあらかじめ設置する作業。

漏電

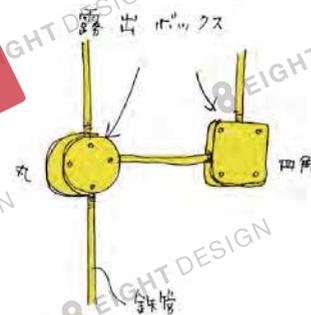
機械の故障や電線の絶縁不良などのために、電気もれること。

空配管

針金のようなものが入った管。配線したいケーブルをこの針金に結び、片方から引き、片方から押すと配線できる。また後にケーブルを変更したい場合も、今のケーブルと結んで引っ張ると容易に入れ替えることができる。

露出配管

コンクリート躯体面などで壁の中に埋設できない場合、配線を鉄管などに入れ、壁面に露出した状態で配管すること。

**露出ボックス（丸型 / 四角型）**

露出配管をした際に使用するスイッチ・コンセント部分の部材。一般的に四角型と丸型などがある。

鉄管

露出配管時に配線などを通す鉄の管。

ケーブルモール

ケーブルをカバーするもの。複数本をまとめて入れることもできる。床などにケーブル自体を

露出したままにしておくと、断線によるトラブルが発生する恐れがあるため、これを使用することで、トラブルを未然に防止することができる。

専用回路（専用コンセント）

各種の電気機器のために専用につけられた電気回路。エアコンやIHコンロなど、消費電力が高い機器には専用回路を用意する。

レースウェイ

屋内配線の内、天井組のない駐車場や倉庫などで照明器具を固定するため、また電源を供給するために、天井から吊ボルトで吊り下げて使用される金属製部材。

引っ掛けプラグ

配線ダクトにシーリングライトを取り付けられる変換プラグ。

配線ラック

電力配線と通信配線、各種ケーブル類を整理して乗せるための部材。また分電盤や配電盤から出る大量のケーブルをまとめて整理するためにも使用される。

分電盤

電気を安全に使用するために必要な漏電遮断器（漏電ブレーカー）や配線用遮断器（安全ブレーカー）を一つにまとめた箱のこと。

ホタルスイッチ

照明器具を消していても、スイッチについている小さなランプが点灯するため、暗闇の中でもスイッチの位置がわかるもの。階段・廊下・トイレなどのスイッチに使用されることが多い。

パイロットスイッチ

スイッチを入れるとスイッチプレートについて小さな赤ランプが点灯するもの。照明器具などの消し忘れ防止に役立つものとして、トイレ・換気扇・外部照明などに用いられることが多い。

プレート

スイッチ・コンセントのカバー部分。

調光器

照明の明るさをスムーズに調節できるように、照明器具と電源の間に入れる装置。調光器によって連続調節が可能なランプは白熱電球と蛍光灯だけで（最近ではLEDも対応）、とくに蛍光灯の場合はランプ・安定器ともに調光用を使用しなければならない。

2P

2口コンセント。

2PE

アース付き2口コンセント。

三路スイッチ（四路）

1つの照明器具の点滅を離れた2ヶ所（3ヶ所）から操作できるスイッチ。廊下や広い部屋で使用される。

昼白色

蛍光灯の光の色のひとつ。色温度はおおよそ5000K（ケルビン）となっており、日中の自然光に近い風合いが特徴。

電球色

蛍光灯の光の色のひとつ。色温度はおおよそ3000K（ケルビン）となっており、まるで白熱電球のような色をしており、赤みを帯びた色が特徴。（ただし、厳密に比較すると白熱電球の方がより赤みを帯びている）

引っ掛けローゼット

天井に設けてある、シーリングライトを取り付ける受け口。

熱感知器

感知器周辺の熱を検出して警報を発信する感知器。熱の検出方式によって、定温式と差動式がある。定温式の熱感知器は、火災の熱に

より一定の温度以上になると作動するもの。差動式の熱感知器は、火災の熱により一定の温度上昇率以上になると作動するもの。

煙感知器

火災時に発生する煙を検出する感知器。煙の検出方式によって、イオン化式と光電式がある。イオン化式は、火災の煙による空気の状態の変化を検出するもの。光電式は、煙による光の乱反射または遮光を検出するもの。

インターホン

同一施設内で使用される有線通話装置。

シーリングファン

天井に取り付けられた回転する羽で、室内の空気を循環させる。

電流（A・アンペア）

電流の単位。電気の流れる量を表す。分電盤のアンペアが高いほど、その家で使用できる電気量も大きいということ。

電圧（V・ボルト）

電圧とは電流を流そうとする圧力。電圧が高いほど、多くの電流を流せ、機器のパワーが強いということ。一般家庭では100V。

電力（W・ワット）

光源が消費する電力を表す単位。電力が高いほど、光源が明るいということ。

大工工事**墨出し**

工事において、仕上げ工事の前に、建物の柱の中心線や床・壁の仕上げ面の位置など、工事の基準となる線を構造体などにすること。

納まり

建築を構成するあらゆる部分の関係性を指す言葉。部材の納まり次第で、機能性・利便性・安全性・防水性・防火性のほか、デザインや見え方が決まる。

逃げ

納まり上、部材と部材の位置関係に余裕や調整機能をもたせて施工すること。

捨て貼り

フローリングなど仕上材の下に下地材を張ること。

直貼り

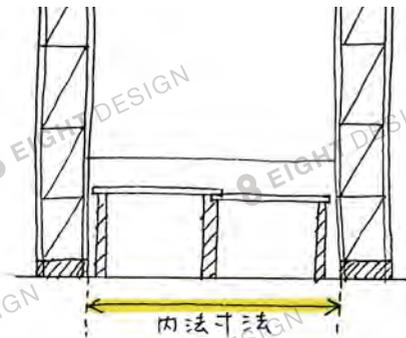
コンクリート躯体部に直接施工すること。

増貼り

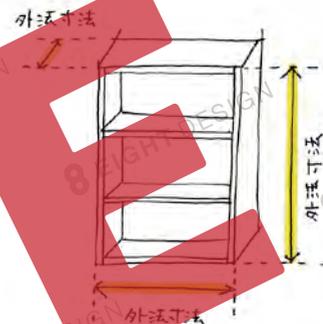
既存の壁面・床面の上から仕上材を施工すること。

内法

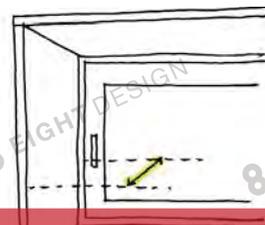
向かい合う部材間の内面間の寸法を言う。

**外法**

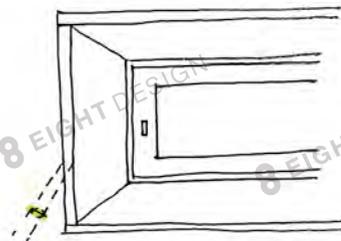
キッチン・家具・家電製品などで、最外部の寸法を言う。

**見込み**

正面から見た部材の側面を指す言葉。また、側面や奥行の寸法を指す場合にも用いる。

**旧版****見付け**

正面から見た部材の正面を指す言葉で、正面の部材寸法を指す場合にも用いる。

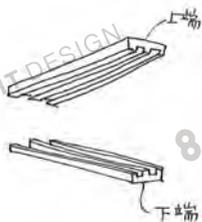


見え掛かり

目に見える部分および見える側。建材を剥がさなくても見えている部位。

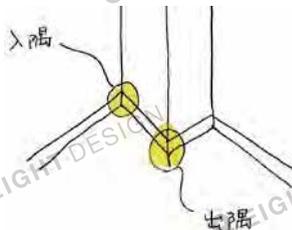
上端と下端

建築の納まりを指示する場合、部材の上の端を上端、下の端を下端と言う。



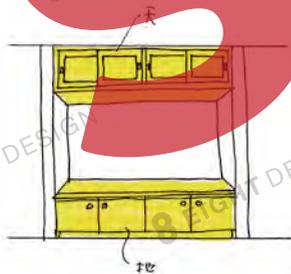
出隅と入隅

部材や壁などの2つの面が合わさってできる外側の角を出隅、内側の角を入隅と言う。



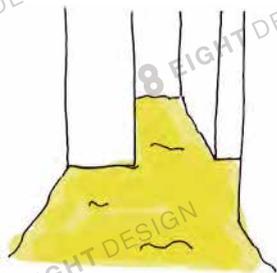
天と地

物の位置関係で、頂部を指す場合は天と言い、最下部を指す場合は地と言う。天板と地板、天袋と地袋、天窓と地窓など、天地が対で存在する物も多い。



不陸

表面に凸凹があり平滑でない状態や、傾斜があつて水平でない状態のこと。



勾配

地形や人工的な構造物、建造物の傾き(傾斜)のこと。

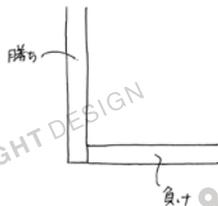
小口

ものを横に切った切り口。木口とも言う。



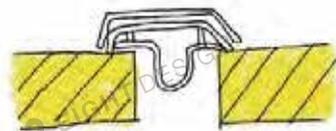
勝ち・負け

部材の接点で一方を伸ばし、他方をその部材につないで納める場合、天板勝ち・側板勝ちのように使う。勝ち・負けは、構造上、納まり上などの判断で決定される。通常は部材断面の大きいほうを勝たせるが、逆の場合もある。



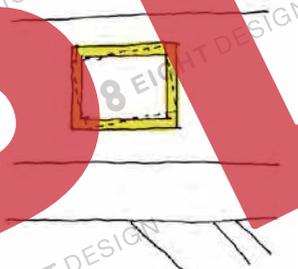
縁を切る

部材と部材の間隔をあけて力が伝わらないようにする納まり。



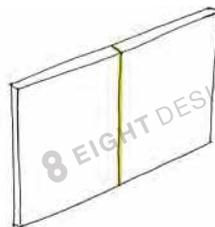
遊び

力が伝わらない状態にするために、納まり上多少の隙間をあけておくこと。



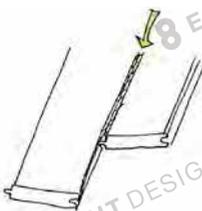
突付け

部材接合部に、材を付き合わせて接合する方法。



目透し

部材を並べて仕上げる際に、突付けとせず、多少間隔をあけて納める方法。



見切り

異なる仕上げ材料を区切るために使う部材。

目違い

ボードや板の突付け部分が、施工不良により平滑面とならない状態を言う。

手直し

工事内容の完成度の低さ、亀裂・剥離・変色などの仕上げの故障、漏水や漏電などの不具合などが原因で、作業完了後にもう一度故障部分を剥がしてやり直すこと。

駄目

工事の完了直前、未完成部分や補修を必要とする部分が残っていること。



旧版

隣接する二つの平面のわずかなずれ。



クリアランス

寸法的な余裕、すきま、ゆとり。

面

互いに接する部材や仕上げ面の位置を、段差なく同じ平面上に納めること。面(めん)ぞろとも言う。

RENOVATION TEXT BOOK

2012年5月20日 初版 第1刷発行

2018年9月18日 改訂第6版発行

発行元 エイトデザイン株式会社
〒466-0064 名古屋市昭和区鶴舞 2-16-5
TEL 052-883-8748 / FAX 052-883-8758
<https://eightdesign.jp/>

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

本書の記載内容の一切について無断転載、転写、引用を禁じます。

本書の第三者への譲渡を禁じます。

©2018 EIGHT DESIGN

旧版